



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第70号

2009.11.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつけています。

もくじ

お知らせ

- ー イベントの日程変更について
- ー 「広報きたひろしま」第57号の巻頭特集について

活動報告

- ー サツキマスの観察会
- ー キノコの観察会

観察会案内

- ー ゴギの産卵観察会
- ー 紅葉と冬芽の観察会
- ー 八幡高原の野鳥観察会
- ー 千町原の草刈り 秋

お知らせ

● イベントの日程変更について

11月7日（土）に開催を予定していた「紅葉と冬芽の観察会」が、都合により下記のように日程変更になりましたのでご確認ください。

日時：11月14日（土）
集合時間：9:30
集合場所：高原の自然館
講師：斎藤隆登
※午前中で終了予定

● 「広報きたひろしま」第57号の巻頭特集について

広島県北広島町で開催された『第8回 全国草原サミット・シンポジウム』の様子が、北広島町の広報誌の巻頭特集となっております。サミットやシンポジウムの様子、出席者のインタビューなどが掲載されていますので、ご覧下さい。

「広報きたひろしま」第57号
<http://www.town.kitahiroshima.lg.jp/mpsdata/web/863/2009-11.pdf>

観 察 会 報 告

● サツキマスの観察会

開催日時:2009年10月10日(土)9:30

講師:内藤順一

冷え込んだ朝の高原センターに、32名の参加者が集まりました。その顔ぶれは親子連れや、釣り好きの人達が多いようです。今日の講師、内藤先生は、サツキマスという魚が、昔の芸北で、どのように認識されていたのか、近縁種との分類がどのように進んだのかなど、プロジェクターを使いながら、分かりやすく丁寧にサツキマスのことを教えて下さいました。特に、北米などにも遡上するサクラマスに対し、サツキマスは世界の中でも西日本にしか生息しない固有種であるというお話しは、とても興味深いものでした。また、水中での産卵の様子を撮影したビデオでは、サツキマスの習性やアマゴとの関係などが良く分かり、撮影の苦労話なども聞かせていただきました。室内で十分にレクチャーを受けた後、いよいよ本物のサツキマスを見に行きます。出発の前に、内藤先生は、産卵を終えて死んだサツキマスの標本を見せて下さいました。

サツキマスが遡上してくるのは小さな小川です。産卵場所を覗き込むと、大きなメスが川底の砂を巻き上げていました。内藤先生によると、既に産卵を終え、卵を守っているところだそうです。前日まではたくさんの個体が泳いでいたそうで、夜の内に産卵を終えたのだろう、ということでした。それでも、川の中を注意深く見ると、婚姻色が出て赤くなったオスも見ることができました。観察の後には、ブラックバスなど外来種との関係、ダム建設など人間との関係など、参加者からも色々な質問が出ました。日本固有種のサツキマスがこれからも暮らしていけるような環境を残していきたいと思いました。[しらかわかつのぶ]



大きな写真を使いながら解説する内藤先生。



産卵を終えて死んだ、サツキマスのメス(上)とオス(下)の標本。



メスの体には、モリで突かれたような傷があった。(※この時期、サケ科魚類の捕獲は禁止されています)



現地では、色々な質問が出ていた。



産卵場所を覗き込む。



産卵を終え、卵に砂をかけるメス。

【みなさんの印象に残った物】

「サツキマスががんばっているところ」「サツキマスが産床をみたこと」「サツキマスを見ることができたこと(7)」「とっても、きれいにサツキマスが見れたこと」「初めてサツキマスを見れて感動した。スライドを使用し、様々な説明を聞いて良かった」「川の中で卵を守っている姿」「産卵場所が危険な状況であったこと」「実物のサツキマスを見れたこと」「実際にサツキマスが見れた事が嬉しかったです」「サツキマスのオスとメスがいっしょになったのがすごい」「サツキマスのペアが見れたこと」「先生の熱心さ、本当に好きなのだと思った」「サツキマスのビデオを見たこと」「肉眼でサツキマスを見れたこと(2)」「今年もサツキマスを観察できて感動しました」「サツキマスがいたこと」「川でサツキマスを見たこと」「ビデオ」「アマゴ、サツキマスの姿」「オス、メス両方見れたこと」

【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「うまれて初めてみたのでよかった(2)」「自然の力はすごいと思いました」「とても良い研究会でした」「実際にサツキマスがみられて良かったです」「また、じっくり見てみたいと思った」「産卵床は瀬頭に作る、川はあればいいというものではないとわかった」「ビデオより現地の時間が長い方がいい」「もっと魚について調べたいです」「有意義であった」「同じ魚なのに、成長のしかたが違っておもしろかった。」釣りをしますが、魚の大変さが良く判りました。小さな魚はリリースして、川をきれいにしなければいけないと思います」「感動です」「かわいい」「自然を大事にしなければと思った」「大変よかった」「また見たいです」「ダムの利用について考えさせられました」「また見たいです。もっと詳しく知りたいです」「観察会も子供が多くメンバーも新しくなった感じ」「もう少しあちこち歩きたかった」「産卵床できる場所は意外に少ないという話が印象に残りました」「河川を自然の状態に残してあげないとサツキマスが生息できないことがよくわかりました」「河川利用の不条理さを再考させられた」「勉強になりました」「実際に見れて良かった」

観 察 会 報 告

●キノコの観察会

開催日時 : 2009年10月24日(土) 9:30

講師 : 川上嘉章

気温が低い曇り空の中、集合場所の二川キャンプ場には24名の参加者が集合しました。今回の講師は川上嘉章先生です。各自でキノコを採取し、後で集めて種類分けをすることになりました。落ち葉が多く見つけにくい状況でしたが、紅葉が美しく季節の移り変わりを感じながら、楽しくキノコの採取を行いました。2時間後、採って来たキノコを並べて川上先生が次々と名前をつけてくださいました。今年は雨が少なくキノコにとっては悪条件だったようで、あまり多くのキノコが採れませんでした。それでも30種類ものキノコが集まりました。食用としては中々味の良いチャナメツムタケ、幼菌時には食用になるホコリタケなどがありました。食毒のものも見つかり、中毒例が多いクサウラベニダケ、一本分の量を食してしまうと死に至る可能性のあるドクツルタケなどです。肉が大変辛いドクベニダケは、毒性はありますが噛むのは平気ということで、参加者と味見をしてみました。唐辛子を食べたような辛さでした。食べられると思い採ったものが毒だったり、見た目が似ているキノコを見比べたりしながら先生の説明を聞き、驚いたり感心したりしました。キノコには毒が含まれているものも多く、以前食用できたものが毒性に変わることもあり注意が必要とのこと。おいしいキノコを探しだし味わう楽しさや、様々な形や色のキノコを見る楽しさなど、キノコには独特の魅力があるのだなあと感じた観察会となりました。[しんぼゆうすけ]



木の種類で生えるキノコが違うそう。



続々と集まるキノコと参加者。



キノコの種類をするために、マジックで色分けをした。



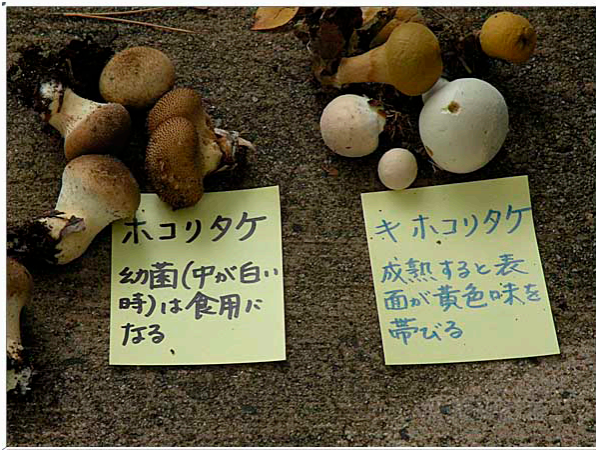
図鑑で違いなどを確認しながら説明される川上先生。

【みなさんの印象に残った物】

「皆んなで集めると、30種類以上もきのこのが見つかったこと」「はじめて見たきのこがたくさん有りよかった」「寒かったが楽しかった」「紅葉の美しさ」「アカカバイロタケの臭さ」「緑が美しい」「自然タツプリ」「きのこの種がわかりました」「キノコの種類の多さ(2)」「初めてクリダケをとったことと、紅葉」「キノコの説明」「キノコの説明をしていただいた事」「きのこが少ない」「たくさんいろんなキノコがあることがわかった」「約30種類のキノコ」「死に至るキノコ」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「自分で一つでも見つけると、取るのが楽しかったです。石付まで丁寧に取りました」「キノコの説明が良く分かりました」「寒かった」「沢山の人に出会えて会話出来、楽しかったです。キノコの種類も勉強になりました」「みんなでよく探せばある」「条件が悪かったにもかかわらず、たくさん種類のキノコが見れて良かった」「たくさん種類のキノコが有り、ちょっと驚きました」「時期がもう少し早かったほうがよかったのでは?」「もう少し対応をはっきりしてほしい」「来年も来るつもり」「今日は昨年より人数が少なく、ゆっくり説明をきくことができたのでとてもうれしかったです」「楽しく、学ぶことが良い」「森の散歩で楽しかった」「まだ名前のついていないキノコがあっぴょくり。一回じゃまだ一人でキノコを拾う自信がないです」「雨が少ないせいか、なかなか見つからなくて残念」「色んな種類のキノコが見れて良かったです。説明もすぐわかりやすかったです。ありがとうございます。」「大量にならず残念」



時期により食用になるもの。胞子が出る頃は食べられない



アカマジックで書かれた“死に至る”の説明に、みんなからため息がでた。

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● ゴギの観察会

開催日時：2009年11月7日(土)9:30
集合場所：八幡高原センター
講師：内藤順一
準備：基本セット、双眼鏡
定員数：30名
参加費：一般=300円 / 賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

今回はゴギがペアになり産卵の準備をしている姿を見ることができました。どんな環境を産卵に選ぶのか、オスとメスの行動の意味など先生の説明を聞くと、もっと観察が楽しくなります。防寒をしっかりとってお越し下さい。

● 紅葉と冬芽の観察会

開催日時：2009年11月14日(日)9:30
集合場所：高原の自然館
講師：斎藤隆登
準備：基本セット
定員数：30名
参加費：一般=300円 / 賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

紅葉の時期を過ぎますが、冬仕度を始めた植物の観察会を行います。花がない時期だからこそその発見が楽しみな観察会です。じっくりと観察するために、ルーペなどがあるとより楽しめます。防寒対策をしてお越し下さい。

● 八幡高原の野鳥観察会

開催日時：2009年11月15日(日)8:00
集合場所：高原の自然館
講師：上野吉雄
準備：基本セット、双眼鏡
定員数：30名
参加費：一般=300円 / 賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

八幡高原には様々な冬鳥がやってきます。冬鳥はどこからやってきて、どんな風に冬を過ごすのでしょうか。エサとなる植物との関係も深そうです。冷え込みますので寒さ対策をしっかりとお願いします。

● 千町原の草刈り 秋

開催日時：2009年11月23日(月・祝)8:00
集合場所：山麓庵
準備：作業セット他
参加費：500円(保険、おやつ、昼食、燃料などは、こちらで準備します)
※事前申込みをしてください。

この草刈りは、森林へと変わりつつある千町原を草原として維持して、草原のすばらしい景観とともに、草原にしか生きることのできない植物や昆虫、野鳥を保護しようというものです。今回は、来春に行う予定の「野焼き」の準備として、防火帯を作るとともに、低木等を伐採してススキ草原の管理をします。

「今年の紅葉はきれいだねー」という声をよく聞きます。確かに裏山の木も、苅尾の山も赤に黄に染まり、見事な色彩をみせてくれています。ツタウルシの鮮やかな赤の葉や、ウワミズザクラのほんのりとしたサーモンピンクの葉、ブナのシックな茶色の葉・・・厳しい冬に入る前に、豊かな色をプレゼントしてもらった嬉しい秋となりました。(このやよい)

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしています)

高原の自然館 (こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://shizenkan.info/>
staff@shizenkan.info